

# 【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2022年 4～6月期の景況 / 2022年 7～9月期の見通し

**宇部市内における中小企業の業況は、コスト増が重荷となっている。**

## 今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2022年4～6月期の実績と2022年7～9月期の予測を取りまとめた。本調査は、3ヶ月ごとに年4回実施する予定である。

全産業のDI値は、前期から変化が見られなかった。業種別では、卸売業は▲9.5%から▲27.3%へ、建設業は▲22.2%から▲39.3%へと大幅に悪化、小売業は▲38.9%から▲22.2%へ、サービス業は▲14.8%から0.0%へ、製造業は▲15.0%から▲5.3%へと回復した。

来期の新規設備投資については、今期よりも1.1%減少する見込みである。

経営上の問題点については、多くの業種で「材料価格の上昇」や「仕入単価の上昇」が1位となった。なお、全産業で「従業員の確保難」に関する問題が上位を占めている。

## DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

DI値とは、企業の業況感や設備などの変化の方向性を示す指標。経済部門ごとの調査回答「上昇」「不変」「下降」をもとに、景気変動に係る複数の指数を合成して算出する。

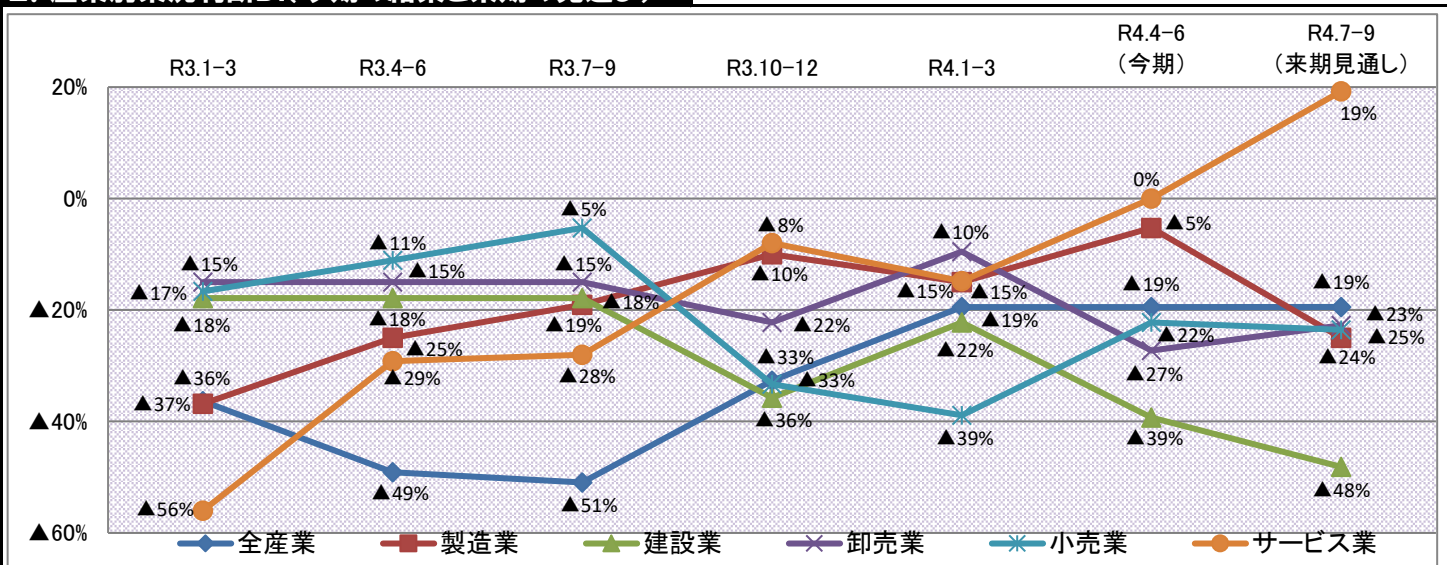
## DATA

- 調査期間: 令和4年6月14日～6月24日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業134社
- 有効回答企業数: 117社(87.3%)

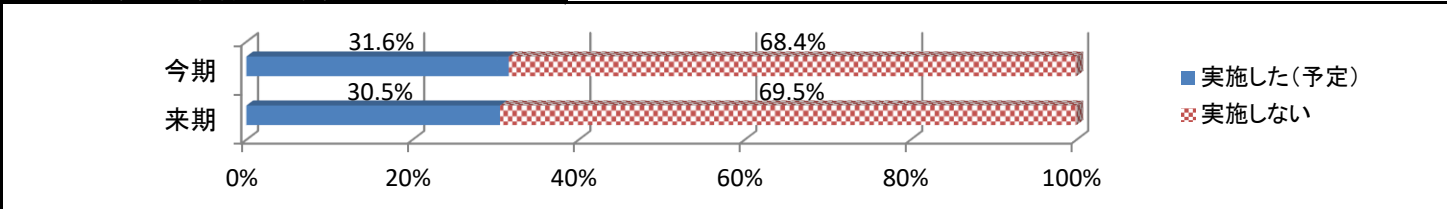
## 1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前环比	売上高	前环比	資金繰り	前环比	経常利益	前环比	従業員数	前环比
全産業	▲19.5%	0.0%	▲13.9%	4.5%	▲9.6%	4.5%	▲27.0%	▲2.4%	▲2.6%	5.4%
建設業	▲39.3%	▲17.1%	▲46.4%	1.7%	▲10.7%	0.4%	▲50.0%	▲1.9%	0.0%	0.0%
製造業	▲5.3%	9.7%	5.0%	10.0%	▲5%	24.7%	▲31.6%	▲1.6%	0.0%	10.0%
卸売業	▲27.3%	▲17.7%	▲18.2%	5.6%	0.0%	0.0%	▲13.0%	▲8.3%	▲4.3%	▲18.6%
小売業	▲22.2%	16.7%	0.0%	26.3%	▲21.1%	▲10.5%	▲26.3%	15.8%	0.0%	17.6%
サービス業	0.0%	14.8%	0.0%	▲11.1%	▲11.5%	7.0%	▲11.5%	▲11.5%	▲7.7%	18.2%

## 2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



## 3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



## 4. 経営上の問題点

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
1位	原材料価格の上昇 30.0%	材料価格の上昇 20.5%	仕入単価の上昇 23.0%	仕入単価の上昇 22.0%	従業員の確保難 20.0%
2位	生産設備の不足・老朽化 13.3%	官公需要の停滞 19.2%	従業員の確保難 16.4%	消費者ニーズの変化への対応 18.0%	需要の停滞 15.7%
3位	需要の停滞 11.7%	民間需要の停滞 15.4%	販売単価の低下・上昇難 13.1%	販売単価の低下・上昇難 10.0%	利用者ニーズの変化への対応 14.3%
4位	従業員の確保難 8.3%	従業員の確保難 10.3%	需要の停滞 13.1%	従業員の確保難 10.0%	材料等仕入単価の上昇 12.9%